



横浜市立城郷小学校
明治33年6月創立

学校だより

めざす子ども像

令和3年5月31日

6月号



ともに学び、よりよい生き方を見つけ出す しろさとっ子

◆学校だよりはホームページにも掲載されています。右のQRコードからもご覧になれます◆

おりあい

【傘かしげ】



校長 三瓶 淳

朝、正門に立って子どもたちを迎えていると、子どもたちの列を避けるようにして通勤の方が通られます。面識のない方々ですが、こちらが挨拶をすればほとんどの方が返して下さいます。心の距離が少しずつ近づいている気がしています。逆に、挨拶を返してくれない方々は、「急いでいるのに子どもたちが歩道を広がって歩いていて、通りにくい。」と立ちを感じているのかもしれない。ましてや梅雨の時期になると傘を差すことが多くなります。今まで以上に人との距離感が開くのでお互いがすれ違う時には、対面する方とぶつからないように、傘で濡らさないように気を配り、傘を傾けて通らなければなりません。

【傘かしげ】。言葉は交わさなくとも、そのような行動が相手の心を温かくしてくれます。コロナ禍でコミュニケーション力を育む機会を得るのが難しい状況ですが、少しでも相手を思いやり、**おりあい**がとれる子どもたちに育てていきたいと思ひます。

さて、1年前の今頃は「やっと6月より、子どもたちと会える！学校が再開する♪」と教職員と喜んでいた時期でした。あれから1年。新型コロナウイルスの様子が次第に分かってきたとはいえ、これだけの行動制限がかかったままで、引き続き学校生活を過ごさなければならないことに苦慮する毎日です。ワクチン接種に関しても依然遅れている日本ですが、ここに来て認可されたワクチンが増えてきました。希望の光が見えてきた気がします。そこで気なる数字とコメントがありました。ワクチンの有効性はF社もM社も約95%ですが、A社とJ社は約70%となっています。副反応にも若干の違いがあるようですが、その件についての報道を見ていると有効性や副反応の違いに対する質問に、「ワクチンを接種する利益は、副反応のリスクを上回る。」と回答していたことです。また、インフルエンザに対するワクチン接種の効果は、50~60%と言われています。新型コロナウイルスが現れるまでは、インフルエンザ予防接種の有効性などあまり考えることもなく、接種していた方が多いのではないのでしょうか。

私は今、学校現場も似たような渦中にあると感じます。運動会や音楽祭、宿泊行事、授業参観や懇談会。地域の方々との行事やお祭りなど、教育的効果はかなり高いと感じていても、リスクをとって延期・中止にしていることがほとんどです。幸いにも、子どもたちは、感染症対策をとりながら、元気に授業を受け、とても前向きに2か月を過ごしてきました。残念ながら、まん延防止等重点措置は延長となりましたが、社会情勢と**おりあい**をつけながら、少しでも質の高い教育的活動を模索していきたいと思ひます。引き続き、ご家庭のご協力をよろしくお願い申し上げます。